

## 京都府総合計画の改定について

農林水産関係 抜粋（主なもの）

### 論点

- ✓ <日本の産業の国際競争力が低下しているといわれている中で、京都の産業活力をどう取り戻し、維持、発展させていくか>
  - ① 恒常的な人手不足、後継者不足、市場変化への対応
  - ② 社会課題解決を見据えた産業育成とスタートアップ支援
  
- ✓ 府内経済の環境共生の推進と環境人材の育成をどのように進めていくべきか
  
- ✓ デジタル技術等の新技術活用による地域課題解決や、連携・協働による持続可能な農山漁村づくりをどのように進めていくべきか

### 主要な方策（中間案から）

- ✓ 未来を拓く産業づくり（未来への活力を生み出し続ける産業づくり）
  - ・フードテックの社会実装を展開する「京都フードテック構想（仮称）」の推進
  - ・農林水産技術センターの再編整備による研究開発機能の強化と、食関連企業との共同研究拠点の整備
  - ・「京の食」のブランド価値をさらに高めて他県をリードする、新たな商品・サービス開発の推進
  - ・食生活や価値観の多様化や消費傾向の変化を踏まえた、内食・中食需要に対応した商品づくりの推進
  
- ✓ 共生による環境先進地・京都の実現（人と自然が共生する京都づくり）
  - ・規格外の農産物も有効活用できる中食等の開発、包装資材の簡素化や脱プラスチック化など、生産、加工・流通の各段階において環境にやさしい取組を進める、環境負荷軽減と収益性の向上を両立した農林水産業・食関連産業の育成
  
- ✓ 交流による新たな地域づくり（ヒト・モノが集まり活力が湧き出る地域づくり）
  - ・「農村型地域運営組織（農村RMO）」等の地域運営の土台となる連携体の形成による持続可能な農山漁村コミュニティづくりの推進